

臨国財事務発第 01 号

平成 29 年 9 月 12 日

関係各位

一般財団法人臨床工学国際推進財団

理事長 川崎忠行



一般財団法人臨床工学国際推進財団会員募集について（入会のお願い）

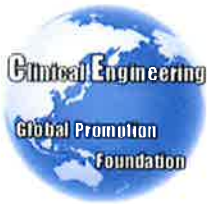
謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃よりご高配を賜り深謝申し上げます。

当財団は、我が国における臨床工学技術の国際普及に関する事業を行い、諸外国の保健・医療の増進に寄与することを目的と掲げ、平成 29 年 8 月 8 日設立致しました。

つきましては、「臨床工学国際推進財団設立趣意書」を参照され、ご賛同頂ける個人、法人並びに団体の入会をお願いする次第です。

入会の際には、添付の入会申込書にご記入の上、郵送または FAX にてお送り頂きますようよろしくお願い申し上げます。

謹白



臨床工学国際推進財団設立趣意書

一般財団法人臨床工学国際推進財団 理事長 川崎忠行

我が国の臨床工学技士は、医学と工学的知識と技能を兼ね備え、医師の指示の下に生命維持管理装置の操作等の診療の補助を行うことが許された世界で唯一の国家資格制度です。

特に医療機器を用いた治療領域での医療専門職であり、また病院各部門に使用されている医療機器の総合管理を行う医療機器管理室でのマンパワーでもあります。

この臨床工学技士法が制定され、30年となる現在、医療機器に支えられた現代医療に欠くことのできない医療安全と医療技術の向上に寄与する職種となっています。

近年、医療のグローバル化が進むなか、発展途上国や新興国においても医療機器の需要が急速に高まっていますが、適切に医療機器を操作し、保守管理する技術レベルが整っていないのが現状です。また、医療機器の保守管理担当者の育成においても極めて不十分です。

我が国の医療提供体制は医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士等による専門職連携を基本としたチーム医療が一般的となっており世界的に高く評価されているところです。

公益社団法人日本臨床工学技士会では、国際交流委員会を設置し、欧米等での関係国際学会やISO関連会議への参加、各国のClinical Engineerとの交流、ASEANや中国への技術支援を行っており、特に新興国から日本の臨床工学技術へのニーズが寄せられております。

これらの活動は、政府施策に上げられている「新興国・途上国等のニーズに応じて日本の医薬品、医療機器等及び医療技術並びに医療サービスの国際展開を図る」に合致する事業であり、日本の優れた医療機器産業の国際競争力強化に資するものです。

よって、国際活動を更に充実させるため外部の学識者、国際交流経験者、医療機器業界等の参加を得て、世界各国における医療機器と生命科学のヒューマン・インターフェイスとしての臨床工学技術の普及啓発により保健・医療の向上に寄与することを目的とし、次の事業を行う「一般財団法人臨床工学国際推進財団」を新たに設立致しました。

つきましては、関係各位におかれましては設立の趣意をご理解頂き、一層のご高配をお願いする次第です。

一般財団法人 臨床工学国際推進財団の事業

- (1) 海外へ日本の臨床工学技士制度の普及及び啓発事業
- (2) 海外における臨床工学領域の調査研究事業
- (3) 開発途上国及び新興国への臨床工学領域の技術移転事業
- (4) 海外から臨床工学技術の研修生の受入事業
- (5) 臨床工学領域の国際学会等における学術交流事業
- (6) 海外から日本の臨床工学関連学会等への招聘事業
- (7) その他、法人の目的を達成するために必要な事業



設立者	川崎忠行（前田記念腎研究所茂原クリニック） 瀬上清貴（医療の信頼性科学研究室） 高倉照彦（亀田総合病院） 樫村友隆（東亜大学）
設立時評議員	那須野修一（公社日本臨床工学技士会） 園川龍毅（光寿会リハビリテーション病院） 井桁洋貴（麻生飯塚病院） 相沢康弘（東北文化学園大学臨床工学科） 山家敏彦（神奈川工科大学）
設立時理事	吉岡淳（山形大学付属病院） 樫村友隆（東亜大学） 高倉照彦（亀田総合病院） 芝本隆（群馬パース大学） 百瀬直樹（自治医科大学付属さいたま医療センター）
設立時代表理事	川崎忠行（前田記念腎研究所茂原クリニック）
設立時監事	瀬上清貴（医療の信頼性科学研究室） 中谷久明（高柳総合会計事務所）

入会申込書

入会申込書を事務局まで郵送またはFAXにてお送り下さい。入会申込書を受理後、入会金及び年会費の請求書を送付いたします。

- ◆正会員（個人）の場合は、入会金2,000円、年会費10,000円
- ◆賛助会員の場合は、入会金 2,000 円、年会費 1 口 100,000 円 1 口以上

正会員入会申込書（個人用）		
フリガナ		
氏名	性別 男 女	
自宅住所	〒	
連絡先	所属・役職（職業）	
連絡先	住所	
	電話・FAX 番号	〒
	E-mail	
貴財団の趣旨に賛同し、個人会員へ入会したく申し込みます。		
平成__年__月__日 申込者氏名_____印		
事務局記入欄	受付年月日：_____、 請求書発行日：_____	

賛助会員入会申込書（法人・団体用）		
法人・団体名		
所在地	〒	
代表者役氏名		
連絡者	所属・役職・氏名	
	所在地	
	電話・FAX 番号	
	E-mail	
賛助会費	1 口 10 万円、____口	
貴財団の趣旨に賛同し、賛助会員へ入会したく申し込みます。		
平成__年__月__日 申込責任者氏名_____印		
事務局記入欄	受付年月日：_____、 請求書発行日：_____	

申込先：（一財）臨床工学国際推進財団事務局宛
 〒113-0034 東京都文京区湯島1-3-4
 KTお茶の水聖橋ビル5F（公社）日本臨床工学技士会 内
 TEL：03-3868-3112 FAX：03-5805-2597